

四日市市デマンドタクシー（市街化調整区域）について

3. 交通空白地域に関する取組みについて

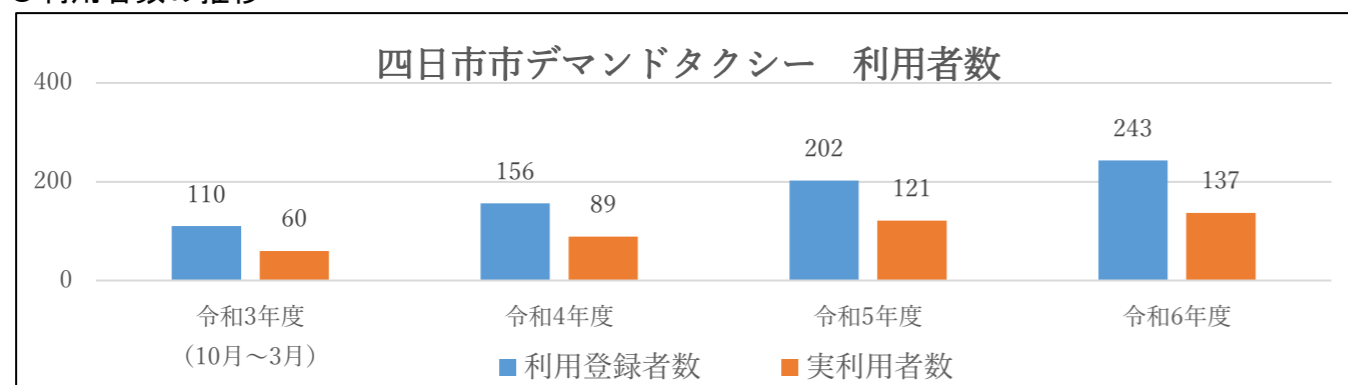
1. 四日市市デマンドタクシー（市街化調整区域）について

<四日市市デマンドタクシーとは>

- 市街化調整区域の交通空白地域（鉄道駅から直線距離で 800m、バス停から直線距離で 300 mを超える場所）に住む 70 歳以上の方を対象とし、予約に応じてタクシーを運行するサービスとして令和 3 年 10 月に開始した。

<利用者数の推移と利用要件の見直し>

○利用者数の推移



○これまでの利用要件の見直し

運行開始以降、市民から利用要件に関する意見をいただいたことから、令和 5 年度に利用対象地域にお住まいの方を対象に広く意見を聞くためのアンケート調査を実施。その結果を踏まえ、買い物や通院のような日常生活に不可欠な外出機会の確保や利便性を向上させるため、令和 6 年度から以下の利用要件を見直した。

- ①買い物や通院のような日常生活に不可欠な移動を半日で済ますことが困難な片道 4 便（午前 2 便、午後 2 便）の 4 往復未満となっているバス停の距離要件を撤廃。
- ② 1 か月 8 枚までとしていた利用制限を廃止。
- ③年間 9 6 枚までの配付としていた利用券について、不足する場合に年間最大 9 6 枚まで追加配布する試験的な運用を開始。

<協議会で出た意見への対応について>

- これまでの協議会で四日市市老人クラブ連合会（現：フロンティア四日市）から自宅と最寄りの公共交通機関との距離ではなく、タクシーの性質上、直接目的地に行くことから目的地と公共交通機関との距離が重要ではないかという意見をいただいた。
- 降車地の調査・分析の実施とその結果に基づいた対応として下記の意見をいただいた。
 - ①降車地が最寄りの駅やバス停または公共交通で行ける場所が多ければ、距離要件を残す。
 - ②降車地が公共交通で行けない場所が（一定）基準以上であれば、距離要件を外す。

⇒協議会后、四日市市老人クラブ連合会から、降車地に要件を設けることは利用者の利便性を損なうことになるとして撤回の申出があった。しかしながら、降車地を分析することはデマンドタクシーの効果検証に必要と考えられるため、引き続き降車地の調査を行っていく。

○令和 6 年度の利用枚数及び利用者ごとの降車地

利用枚数		利用者ごとの降車地（※2）			
内 訳	①最寄りの駅またはバス停	54	①最寄りの駅またはバス停	30	4%
	②①以外の駅またはバス停	115	②①以外の駅またはバス停	66	9%
	③公共交通で行ける場所	895	③公共交通で行ける場所	481	68%
	④公共交通で行けない場所（※1）	232	④公共交通で行けない場所	127	18%
	⑤自宅	2077	合計	704	
	⑥不明	674			
合計	4047				

（※1）鉄道駅から直線距離で 800メートル、またはバス停留所から 300メートルを超える場所にある降車地

（※2）降車地が「自宅」「不明」を除く

利用者ごとの降車地をみると、約 8 割の利用者が公共交通に接続する場所に移動しており、既存の公共交通の利便性を高める結果となっている。

○利用券追加配付の試験実施について

- どのような目的（地）で本制度を活用しているかを把握し、見直しに伴う利用枚数の変化から利用券の枚数の需要を確認することとした。令和 6 年度における追加配付の対象者は 7 人。追加配付対象者の目的別降車地は次のとおり。

目的別利用枚数		利用者ごとの目的別降車地（※2）			
内 訳	商業施設	61	商業施設	32	36%
	医療機関	105	医療機関	54	60%
	公的機関	2	公的機関	2	2%
	駅	4	駅	2	2%
	自宅	244	合計	90	
	不明	24			
合計	440				

- 自宅、不明を除くと医療機関への移動が最も多く、日常生活に不可欠な交通手段として利用されていることが分かった。試験実施の継続にあたっては、利用対象外の市民との間に不公平感が生じないように留意し、今後の運用方法について慎重に判断する。

＜利用環境の把握＞

○予約に係るアンケート調査について

・利用者から「予約が取りにくい」「予約を断られた」等の意見が散見されたため、予約実態を把握するためのアンケート調査を令和6年度に実施。概要は以下のとおり。

1) アンケートの目的

四日市市デマンドタクシーの予約実態を把握すること。

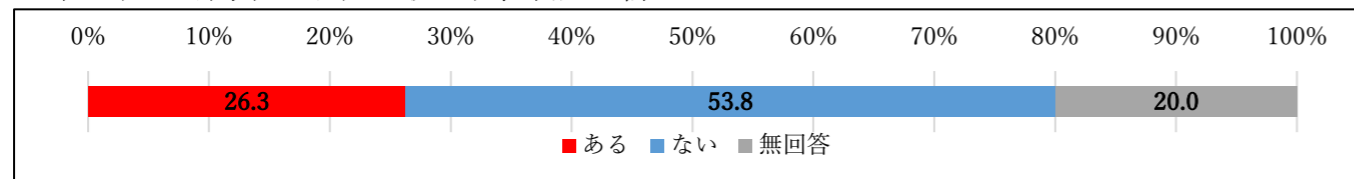
2) 調査対象及び調査方法

調査対象：過年度を含めた四日市市デマンドタクシーの利用登録者256人

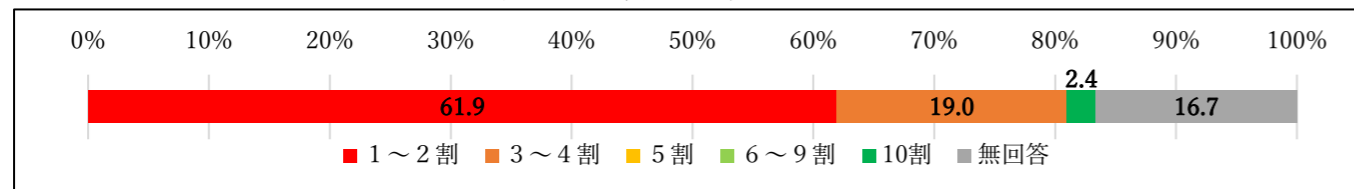
調査方法：調査票を郵送で配布し、回収を行った。 ※回収率62.5%（160人）

＜アンケート調査結果について＞

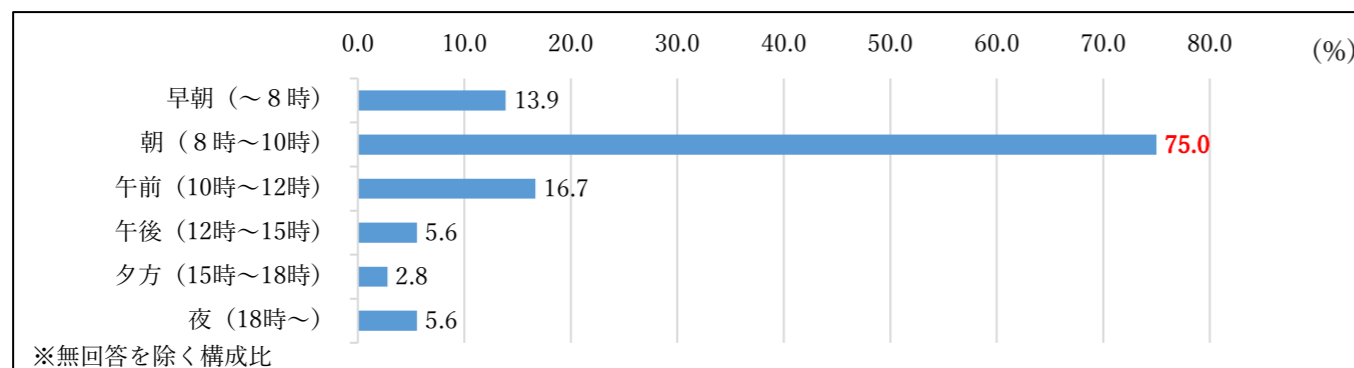
★希望する時間帯に予約が取れず、利用を諦めたことがあるか



★希望する時間帯に予約が取れず、利用を諦めた頻度は何割か

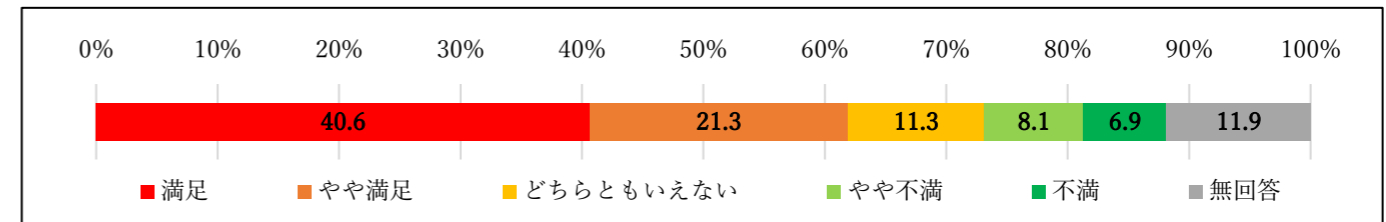


★希望する時間帯に予約が取れず、利用を諦めた時間帯

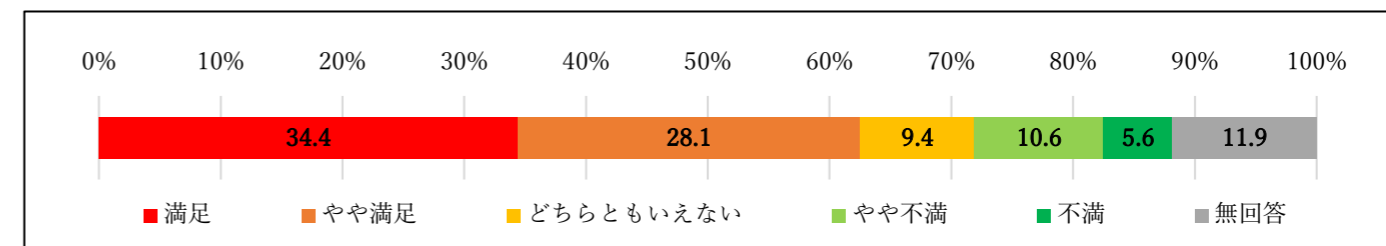


希望する時間帯に予約が取れず利用を諦めたことがあると回答した26.3%の人のうち、予約が取れなかった割合が1～2割と回答した人が61.9%であることから、概ね予約が取れている状況である。時間帯別に見ると、予約が取れない時間帯は朝（8時～10時）に集中しているため、利用時間を分散化させる仕組みが望まれる。

★令和6年度から実施した利用要件見直しの満足度



★四日市市デマンドタクシーの満足度

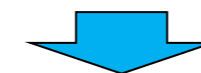


利用要件の見直しに対する満足度（「満足」「やや満足」）は61.9%であり、一定の評価が得られた。また、デマンドタクシーへの満足度（「満足」「やや満足」）も62.5%となった。

＜今後の検討課題＞

四日市市タクシー協会からは、「業界全体で運転士が不足していることに加え、朝夕は交通渋滞も重なることで予約が取りにくくなっている」と聞き及んでいる。過去のアンケートにおいても「四日市市デマンドタクシーの予約がいつでも確実にできるようになる」ことへの要望が多かった。予約の集中を避けるために、オフピーク時利用の啓発やインセンティブの付与など、利用時間の分散化に繋がる取り組みを検討していきたい。

また、四日市市デマンドタクシーは利用要件に年齢制限を設けているため、高齢者施策としては良いが、交通空白地域に対する公共交通施策としては不十分との意見が一部から寄せられている。公共交通施策として継続して実施していくためには、様々な世代に対応した柔軟な運用を検討していく必要がある。



引き続き、タクシー事業者と連携して利用環境の整備（オフピーク時利用の啓発、年齢制限の要件緩和等）について検討を行う。